



田村理事長（前列左から2人目）を先頭に安保法制は廃止とアピールする人たち＝27日、札幌市

「私たちは戦わない」

道弁連と若者らパレード

北海道弁護士会連合会（田村智幸理事長）と札幌、旭川、函館、釧路の各弁護士会は27日、札幌市の大通公園で「3・27パレード わたしたちは戦わない NO WAR パート4」を開催し、弁護士をはじめ、労組・団体などから2300人を超える人たちが集まりました。

田村理事長は「戦後70年受け継いできた憲法が安倍政権により変えられようとしている。私たちの手に憲法を取り戻すため、安保法制廃止、立憲主義回復を旗印に今日のパレードを成功させよう」と呼びかけました。

札幌弁護士会の太田賢二会長は「今日のパレードのゴールはあるが、この運動は今日で終わりではない。各地で声を上げ続けよう」と訴えました。

集会后、参加者は「NO WAR」のプラカードを掲げて、市内中心部をパレード。後方の隊列では、道労連のメンバーや「ユニキタ」の若者らがドラム隊のリズムに合わせて「戦争法は廃止」と元気いっばいコールしました。日本共産党の畠山和也衆院議員、森つねと参院道選挙区候補、党札幌市議団も参加しました。